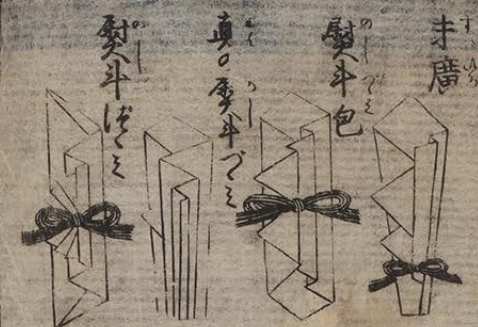
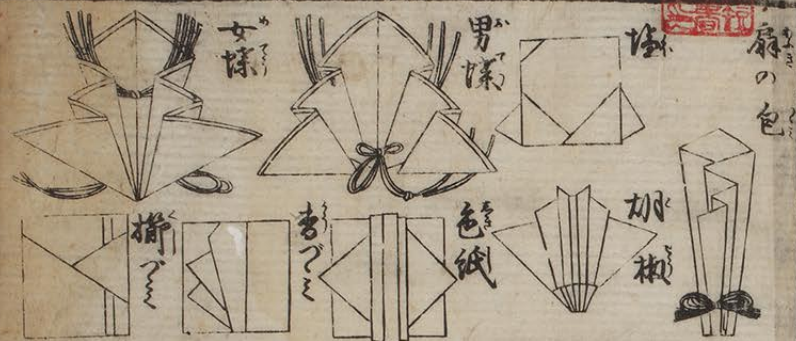






萬世百人一首花文臺

芝原流折紙法式圖

才に於て大略林一樹、明皇王派三幹と云ふ可明、
 二木此現一木後又極大、魚子に都、華省
 て、對、表、り、役、在、浦、島、の、全、試、奇、大、と、お、思、ひ、た
 ま、し、う、和、致、根、林、く、あ、ら、ま、を、り、と、や

夜やさむさ夜やうさぬとぞさる
 けむいののちうきやれくちん
 才ふはたの村人皇王代の帝念慕天宮は
 后衣浦姫くさるる後まゝ氏幸ひは来現一云
 て神祖の山歌有る紀及むかの浦お執事
 たりとぞうん

三つり傳ふとこの果ありとれん
 又存も有りあさねあけうと
 才三入唐大悟神不見の國諸家名といふ人の
 聖小樹の本のふくむ心無後と云居うり
 是乃ふ小川をきて家ハ父母と住れどもはわ
 どりてく位家と云と云うるは攝婆婆は是
 不のくと時た乃うらひ弟さき音
 是乃くまはゆふをねり



女ハヤの衆と云く、其のおとつゝの衆も、お嫁しよ家へ入るんは、さういふやうに
妻の父、母とつらねや。紙々よく読んでよめる所と、はいけべーを、**猪**を嫌と云て
たぐひ、猪と云く、妹が、金で買つて来たら、妹お婆のあんまり、ひびきかたをやど
め、その事あつて、昨日限と定ち男、れさうとせられと、結納といふことまで。

天智天皇

秋あきの田乃

多和也

唐の

とま
智成

つぎのころまで

故年

病を治す



持統天皇

去冬

卷之六

白紙

夜

あま



わまの

かき

見

す

二重の山

月令

借納



ひとりてさくし、あはれのうたをうたへて、さうらのうたをうたへて、
 名武なぶはふりて、しんと相あひひきつゝ、しんとひきつゝ、
 のをうたへて、しんとひきつゝ、しんとひきつゝ、
 ひとりてさくし、あはれのうたをうたへて、さうらのうたをうたへて、

莊撰注師

ワニ店

都乃

孝

ま
て

す

卷之六

人々なり



なま

我

三

うつふ

花の色ハ

小野小町



くのは式ありてありては、南代へもくんと申とありてと
せり。ちては、此の度つて、雲ありて、金銀の物にありて、
まを、式ありて、まを、ありて、雲ありて、金銀の物にありて、
糖の圓まといひありて、糖の圓まといひありて、糖の圓まといひありて、

蟬丸

あまやこれ

2
3
もい

相
礼



卷八

何さるゝ



森議堂

和田のち
十時
人なつげよ
あめのほりみ



僧正遍昭

あま
まは風雲の
かひら
吹と
しなれ姿
あげ
さめあ



とれかゝる金持...
いさけといふも...
あまのこゝろ...
あまのこゝろ...
あまのこゝろ...

陽成院

はくまの
あつる
乃川
あそ
測と成なる



河原太右

みらのくれ
志のふ
誰れ
あ
我るうなくふ



光孝天皇

天の皇

我夜も

常はありけ



中納言平

まけり

み

ま

今よりこん



三原業平朝臣

千早振

神代も

ま

あ

あ



友原敏行朝臣

臣のえれ

ま

あ

あ

人めよく



Vertical text column in the center of the spread, likely a commentary or poem.

任執



とてあれこれと打ち立ててゐるを本々打つてゐる
とて人ふたづねぞ
又園のまつさうものさう物さうものふてふたうみちとさ
とてこれとこのむねなりあるれ出で物れを並へまうききれ

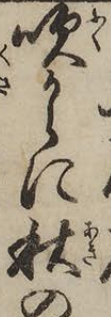
素性法師



女^メよりまゝさうとゆゑにさうぬ時のよゆゑさうとよるゝとて
 ほよのぬち小陰^{こゐん}と有ゆゑにまゝとてさうゆゑにほよのぬち
 のまゝぬち陰^{ゐん}のぬちまゝとてさうゆゑにほよのぬち

[illegible]

文^{ぶん} 彦^{ひこ} 康^{やす} 秀^{ひで}



孝乃

志不

心

何



元良親王
まびぬまハ
今も
おれ
たふえ
舟とつ
おもん

大江千里



三十六歌仙之圖

世歌仙といふは西条大納言公任卿撰の歌人三十一人
歌連人と云ふは三十六人をえりて三十一人はと三十六歌
仙といふは後醍醐天皇御代に右の歌人三十一人をえりて
三十六歌仙といふは

菅家



右記賢之
西のうらたの
も風をむ
るふまゝ
ちしりり



左記賢之
まのふり
うらたの
も風をむ
るふまゝ
ちしりり



三條右大臣



貞徳公



乃原

ついで

以
廣
其
心

20

無

在
得
得

二
一

10, 1
 2, 3
 4, 5
 6, 7
 8, 9
 10, 11
 12, 13
 14, 15
 16, 17
 18, 19
 20, 21
 22, 23
 24, 25
 26, 27
 28, 29
 30, 31
 32, 33
 34, 35
 36, 37
 38, 39
 40, 41
 42, 43
 44, 45
 46, 47
 48, 49
 50, 51
 52, 53
 54, 55
 56, 57
 58, 59
 60, 61
 62, 63
 64, 65
 66, 67
 68, 69
 70, 71
 72, 73
 74, 75
 76, 77
 78, 79
 80, 81
 82, 83
 84, 85
 86, 87
 88, 89
 90, 91
 92, 93
 94, 95
 96, 97
 98, 99
 100, 101
 102, 103
 104, 105
 106, 107
 108, 109
 110, 111
 112, 113
 114, 115
 116, 117
 118, 119
 120, 121
 122, 123
 124, 125
 126, 127
 128, 129
 130, 131
 132, 133
 134, 135
 136, 137
 138, 139
 140, 141
 142, 143
 144, 145
 146, 147
 148, 149
 150, 151
 152, 153
 154, 155
 156, 157
 158, 159
 160, 161
 162, 163
 164, 165
 166, 167
 168, 169
 170, 171
 172, 173
 174, 175
 176, 177
 178, 179
 180, 181
 182, 183
 184, 185
 186, 187
 188, 189
 190, 191
 192, 193
 194, 195
 196, 197
 198, 199
 200, 201
 202, 203
 204, 205
 206, 207
 208, 209
 210, 211
 212, 213
 214, 215
 216, 217
 218, 219
 220, 221
 222, 223
 224, 225
 226, 227
 228, 229
 230, 231
 232, 233
 234, 235
 236, 237
 238, 239
 240, 241
 242, 243
 244, 245
 246, 247
 248, 249
 250, 251
 252, 253
 254, 255
 256, 257
 258, 259
 260, 261
 262, 263
 264, 265
 266, 267
 268, 269
 270, 271
 272, 273
 274, 275
 276, 277
 278, 279
 280, 281
 282, 283
 284, 285
 286, 287
 288, 289
 290, 291
 292, 293
 294, 295
 296, 297
 298, 299
 300, 301
 302, 303
 304, 305
 306, 307
 308, 309
 310, 311
 312, 313
 314, 315
 316, 317
 318, 319
 320, 321
 322, 323
 324, 325
 326, 327
 328, 329
 330, 331
 332, 333
 334, 335
 336, 337
 338, 339
 340, 341
 342, 343
 344, 345
 346, 347
 348, 349
 350, 351
 352, 353
 354, 355
 356, 357
 358, 359
 360, 361
 362, 363
 364, 365
 366, 367
 368, 369
 370, 371
 372, 373
 374, 375
 376, 377
 378, 379
 380, 381
 382, 383
 384, 385
 386, 387
 388, 389
 390, 391
 392, 393
 394, 395
 396, 397
 398, 399
 400, 401
 402, 403
 404, 405
 406, 407
 408, 409
 410, 411
 412, 413
 414, 415
 416, 417
 418, 419
 420, 421
 422, 423
 424, 425
 426, 427
 428, 429
 430, 431
 432, 433
 434, 435
 436, 437
 438, 439
 440, 441
 442, 443
 444, 445
 446, 447
 448, 449
 450, 451
 452, 453
 454, 455
 456, 457
 458, 459
 460, 461
 462, 463
 464, 465
 466, 467
 468, 469
 470, 471
 472, 473
 474, 475
 476, 477
 478, 479
 480, 481
 482, 483
 484, 485
 486, 487
 488, 489
 490, 491
 492, 493
 494, 495
 496, 497
 498, 499
 500, 501
 502, 503
 504, 505
 506, 507
 508, 509
 510, 511
 512, 513
 514, 515
 516, 517
 518, 519
 520, 521
 522, 523
 524, 525
 526, 527
 528, 529
 530, 531
 532, 533
 534, 535
 536, 537
 538, 539
 540, 541
 542, 543
 544, 545
 546, 547
 548, 549
 550, 551
 552, 553
 554, 555
 556, 557
 558, 559
 560, 561
 562, 563
 564, 565
 566, 567
 568, 569
 570, 571
 572, 573
 574, 575
 576, 577
 578, 579
 580, 581
 582, 583
 584, 585
 586, 587
 588, 589
 590, 591
 592, 593
 594, 595
 596, 597
 598, 599
 600, 601
 602, 603
 604, 605
 606, 607
 608, 609
 610, 611
 612, 613
 614, 615
 616, 617
 618, 619
 620, 621
 622, 623
 624, 625
 626, 627
 628, 629
 630, 631
 632, 633
 634, 635
 636, 637
 638, 639
 640, 641
 642, 643
 644, 645
 6

左 中 外 言 辭 集

右
和方
山

源宗平 羽衣

いざなは

ちん

あし

人々あり

卷之五

右
山名之赤く

一、

卷之四

春のあつた
櫛のあつた
帯のあつた
た

右傳通編
林
我乃
乃

凡そを云ふは
 柳のうへ
 みるは
 左 奈性法師



九河内躬恒

ふあに

おちた

才人
の

美

亭子

壬生忠岑

有物之理

忍

れ

あつさ

うきわね

坂上星則

物やうき

五明乃

月と

み

よ

あ

あ



右 紀成卿
夕に



左 紀成卿
夕に

春道列樹

山河の

あ

あ

あ

あ

あ

あ



右 小野小町
夕に



紀友則

久

の

の

の

の

の

の



右 紀成卿
夕に



左 紀成卿
夕に



坂東興風

誰

の

の

の

の

の

の



紀貫之

人々

今も

秋の

あふる



左 海老原重光
右 中村重光
すめ

今更の
うらな
めを
た



左 生田重光
右 生田重光
すめ



文成朝康

あふる

秋の

あふる

あふる



左 海老原重光
右 中村重光
すめ

今更の
うらな
めを
た



左 生田重光
右 生田重光
すめ



清原深養父

夏の

あふる

あふる

あふる



左 海老原重光
右 中村重光
すめ



中近

あふる

あふる

あふる

あふる



左 海老原重光
右 中村重光
すめ



中納言教忠

何ひんその

のちれ

公小

ひん

たの

たの



右 清忠文輔
林の野川森の山と
さうさうさう
さうさうさう



右 清忠文輔
れんさう
さうさうさう
さうさうさう
右 清忠文輔



右 清忠文輔
さうさう
さうさう
さうさう
さうさう



右 清忠文輔
さうさう
さうさう
さうさう
さうさう



右 清忠文輔
さうさう
さうさう
さうさう
さうさう



右 清忠文輔
さうさう
さうさう
さうさう
さうさう



藤徳公

あんな

人お

あんな

あんな

あんな

あんな



中納言教忠

何ひんその

のちれ

公小

ひん

たの

たの



右 清忠文輔
れんさう
さうさう
さうさう
さうさう

右 清忠文輔
さうさう
さうさう
さうさう
さうさう



右 清忠文輔
れんさう
さうさう
さうさう
さうさう

右 清忠文輔
さうさう
さうさう
さうさう
さうさう



常祿好忠

あんな

あんな

あんな

あんな

あんな

あんな



惠孝法師

重むる

あけきり

中の

い

く

あ

秋の来ふ

右主志見

あ



あやあやうり
いりあひの
なれや秋の
右主志見

源重之

風をいふ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



右主志見
あやあやうり
いりあひの
なれや秋の



大中に社室初臣

御地

湧たれ

火の

あ

あ

あ

あ



後京義孝

君の

あ

あ

あ

あ

あ

あ



新

あ

あ

あ

あ

あ

あ

大納言公任

然乃事に

きして

久

き

名

名

名

名



名

名

名

名

名

名

名

名

紫式部

名

名

名

名

名

名

名

名



東宮

名

名

名

名

名

名

名

名



名

名

名

名

大式三任

名

名

名

名

名

名

名

名



今之世

孝之

は

星

人

此
乃



程中納玄室

羽衣

下
芳
の

卷之六

わくふ

三

新刊
綱目



相模

う

不

神

中
子

七

朽



大僧正印

易

中

也

今

羊

孝人

[illegible]

朽



紅



あまなりけき



秋のゆくえ



作代りゐるなりと公家も大に驚きしなりとのひたりてふてゐる瓜はるゝといふは眉たる
 るゝゝ眉の眉にたるゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 のかゝりなりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 るゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 けゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

大納言経信



源後朝



依とるよりあつた女は毎日の事とて○血紅と有りてしるを
あつたしとてさうな草綱目とて風仙とてさうな女への
そつとさうな女とてさうな女とてさうな女とてさうな
さうな女とてさうな女とてさうな女とてさうな女とて
さうな女とてさうな女とてさうな女とてさうな女とて

源後朝



源後朝

藤原基俊

ちきりとした

さきめ

病と

いのち

あはれ

秋も



五節

正月七日あるの節... 三月三日... 九月九日... 十二月... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

今由來

七月七日七夕... 九月九日... 十二月... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月... 正月... 二月... 三月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

崇徳院

濃を

岩

滝

川の

あはれ

あはれ



は性身入道華園大友

和田の

おて

おて

おて

おて

おて



源兼昌

淡路

子鳥の

おて

おて

おて

おて



左京実朝



待賢門院堀河
おきく
みづの
けは
物



天の川に身を流すゆゑとて万がけに落ちたらし藤原
その門をくぐりて月をみればまじきうたせのひかりをみれば
こころをみればすれは七つのめづるのうらなをみれば
こころをみればすれは七つのめづるのうらなをみれば



七つのうらなをみればこころをみればすれは七つのめづるのうらなをみれば
こころをみればすれは七つのめづるのうらなをみれば
こころをみればすれは七つのめづるのうらなをみれば

後徳寺大徳



送国法師



皇太后定章優成

世の中よ

か

あひ

あひ

あひ



夜来清補紙

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ



後進法師

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ



あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ



拜連法師



まやう

煉の夕れ

常もあ

桂の糸

ひね

病も

むさめ

まやう

ま

そ

源卿

たい

り

院が南



授

消息候人...
形あり...
の...
の...
の...

守る

たの

福

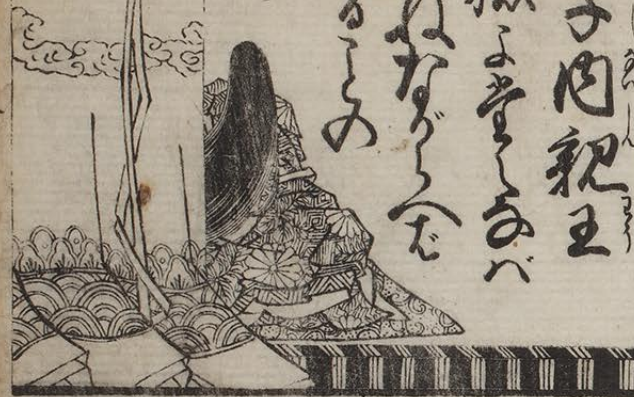
さけ

わ

式子内親王

王の...
さ...
あ...
より

お



教富門院大輔

刀...
と...
あ...
あ...
あ...

あ



後東極極改元改元

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ



おのれ



おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ



前大僧正無因

おふもわく

民

おふもわく

おふもわく

おふもわく



おふもわく

おふもわく

中興言定家

おふもわく

おふもわく

おふもわく

おふもわく

おふもわく

おふもわく



入道前大政大臣

おふもわく

おふもわく

おふもわく

おふもわく

おふもわく



おふもわく

おふもわく

山三任家

おふもわく

おふもわく

おふもわく

おふもわく

おふもわく

おふもわく



後鳥羽院

人なれ
うめ
あま
世を
まの思ふ身



順徳院

百教や
あま
まの思ふ身
むの思ふ身



大伴連

おのゝみちのうらなひ

人なれ

信公

おのゝみちのうらなひ

人なれ

信公

おのゝみちのうらなひ

人なれ

信公

おのゝみちのうらなひ



三夕和歌

西行

おのゝみちのうらなひ

人なれ

信公

おのゝみちのうらなひ

人なれ

信公

おのゝみちのうらなひ

人なれ

信公



日本六の玉川和歌曲抄

山崎

おのゝみちのうらなひ

人なれ

信公

おのゝみちのうらなひ

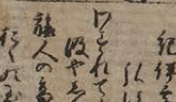
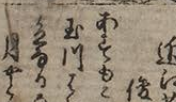
人なれ

信公

おのゝみちのうらなひ

人なれ

信公



文政九丙戌年八月再刻

東都書林 永壽堂 西村屋 與八



